

# 令和7年度 活動報告書 【新温泉町】

報告者

新温泉町地域包括支援センター 稲葉政人

## 認知症地域支援推進員の役割と活動概要

推進員：3名

### (1) 普及・啓発

認知症サポーター養成講座の実施

認知症講演会の実施

地域での認知症について出前講座の開催

アルツハイマー月間の取組

### (2) 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・ 介護等の提供

認知症ケアパス(認知症支援ガイドブック)の普及

在宅医療・介護連携推進事業の実施

但馬圏域・鳥取県東部圏域退院支援ガイドラインの活用

町内専門職の認知症対応能力の向上

### (3) 認知症の人や介護者支援

オレンジカフェのPRと運営

町内3カフェ連絡会及び合同カフェの実施

認知症の人と家族の一体的支援プログラムの実施

### (4) 地域づくり推進

高齢者見守り事業所の拡大(登録事業所を増やす)

社会福祉協議会などと連携した地域づくりの推進

認知症高齢者等見守りSOSネットワークの推進や認知症損害賠償保険の導入

# (1) 認知症の正しい理解を広めるための普及啓発

01

対象：70歳を迎える方

## 「70歳塾」での講演実施

今年度、70歳を迎えられる方を対象に実施した  
「70歳塾」のなかで講演を行いました

認知症への理解を深める初期段階のアプローチ  
として、節目となる年齢の方々に直接お話をす  
る貴重な機会となりました

### 認知症とACP（アドバンス・ケア・プランニング） 「人生会議」のすすめ

諸寄の漁港



海上の棚田



令和8年2月25日 70歳塾 講座  
新温泉町地域包括支援センター 社会福祉士 稲葉政人

# (1) 認知症の正しい理解を広めるための普及啓発

地域住民対象

## 町民向け 認知症講演会を実施



町民向け講演会風景

地域住民の方々を対象に、認知症についての正しい知識と理解を深めていただくための講演会を開催しました

多くの町民の方にご参加いただき、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりへの第一歩として、意識啓発を図ることができました

# 普及啓発 (1) 認知症の正しい理解を広めるための普及啓発

アルツハイマー月間の取組

## 啓発活動の多面的展開

「認知症になっても大丈夫だぞ」と言えるまでに

上記のテーマを掲げ、町内の様々な場所で普及啓発活動を集中的に実施しました

本庁舎玄関での掲示



啓発グッズの展示状況

新温泉町本庁舎

# (1) 認知症の正しい理解を広めるための普及啓発

アルツハイマー月間の取組

## 多様な場所での普及啓発活動の展開

「認知症になっても大丈夫だ」と言えるまちづくりを目指し、町内の公共施設等を活用した啓発活動を実施しました

### 町立図書館での展示



町立図書館に特設コーナーを設け、認知症関連書籍を展示来館者が気軽に手に取れる環境を作りました

### 本庁舎での懸垂幕



本庁舎正面の目立つ位置に懸垂幕を設置し、来庁者だけでなく通行する地域住民へも広くPRを行いました

## (3) 認知症の人や介護者支援

オレンジカフェ

### オレンジカフェ 開催状況（令和年度）

オレンジカフェを実施する中でピアサポートを行い、認知症への正しい理解ができるよう町内3カフェ間で考え方を共有しながら実施しました

今年度も昨年度から継続して町内合同オレンジカフェを実施しています

集い名	開催日	開催場所	対象者	内容	参加費	圏域
オレンジカフェ 「ひとやすみ」	毎月第3木曜日 13:30 - 15:30	サンシーホール浜坂 新温泉町浜坂1903-1	認知症の人と その家族 地域の方	情報交換 意見交換 自由な会話	100円 (茶菓子代)	浜坂
オレンジカフェ 「ほっこり茶屋」	毎月第4火曜日 13:30 - 15:00	ほっこり庵 新温泉町湯894	認知症の人と その家族 地域の方	情報交換 意見交換 自由な会話	100円 (茶菓子代)	温泉
認知症&予防カフェ うたお茶カフェ 「のどか」	毎月第1水曜日 13:30 - 15:00	特別養護老人ホーム ゆむら 新温泉町歌長字熊田600	認知症の人と その家族 地域の方	情報交換 意見交換 自由な会話	100円 (茶菓子代)	温泉

活動報告

## オレンジカフェ（クリスマス会）の様子

季節ごとのイベントを通じて、参加者同士の交流や楽しみを創出しています



## 介護者支援 (3) 認知症の人や介護者支援

### 一体的支援プログラム

## 認知症の人と家族の一体的支援プログラムの実施

### 支援の単位

認知症の本人、家族（介護者）を別々ではなく、**一つの単位**として捉えて活動を展開しています

### 活動の目的と効果

月に1回程度、本人と家族が思いを共有し、一緒に活動を楽しむことで、**互いの距離を縮め、葛藤を調整**できるよう試みています



## 介護者支援 (3) 認知症の人や介護者支援

本人の声を形にする

### 認知症本人の「やりたい」を実現

「釣った魚を捌いて、友人に振る舞いたい」  
ついにその声を叶えることができました

そんな本人の声を実現するため、約1年かけて支援に取り組み、

#### 海岸での釣り



#### 魚を捌く



## (4) 認知症の人を含む地域づくり推進

### 高齢者見守り 事業連絡会の実施

町内の高齢者見守り事業に登録している事業所、  
民生委員等の方々と連絡会を実施いたしました

グループワークを取り入れたことで、参加者間での  
活発な意見交換が行われ、地域での見守り体制強化  
に向けた有意義な時間となりました



高齢者見守り事業連絡会の様子

# 活動の効果と今後の方針

## 活動の効果

### 認知症の正しい理解への浸透

認知症講演会やアルツハイマー月間の取組など、多様な手段を用いた普及啓発により、地域住民の認知症に対する理解が深まりました

### 本人・家族の関係性の再構築

オレンジカフェや一体的支援プログラムを通じ、本人と家族（介護者）が共に活動することで、互いの関係性が前向きに変化しました

## 今後の方針

### 「新しい認知症観」の普及

認知症になっても自分らしく暮らせるという  
**「新しい認知症観」**の啓発活動を継続的に  
行っていきます

### 当事者の声を形にする地域づくり

**「認知症当事者の声」**を一つでも多く拾い上げ、本人の希望に沿った事業展開や地域づくりを推進します